

科目ナンバー	ECO-1-002-jk			科目名	経済学概論Ⅱ A		
教員名	兼本 雅章			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	現代の日本社会が直面するグローバル化、情報化、少子高齢化といった大きな変化と課題を考える上で、また、今後の私たち自身の生活や働き方を考える上で、経済に関する基本的な理解と考察は欠かせない。 この科目では、経済についての基本的な考え方や、理解しておくべき重要な用語を学び、現代の経済を考える。経済を理解する上で最も基礎となる科目である。						
到達目標	新聞や雑誌の経済関連記事をよく理解できるようになる。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド	○	主体性		関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	講義形式である。 課題や確認問題などについては、説明や解説を提示する。						
アクティブラーニング			サービスラーニング			課題解決型学修	
受講条件 前提科目	学習到達度や関心に応じて学びやすくするために、AとBの2つのクラスに分けている。 ※前期に「経済学入門」を受講した1年生は、引き続き同じクラスで受講すること。 ※2年生以上の学生は、どのクラスに所属するかについて事前に学生センターに相談すること。						
アセスメントポリシー及び評価方法	平常点30% テスト70%。 平常点には、経済や経営などに関する本の読書レポートを含む。						
教材	テキストとして、吉野薫『これだけは知っておきたい「経済」の基本と常識 改訂版』(ダイヤモンド社 ISBN9784894516472)を使用する。 このうち特に第5章から第7章を中心に利用する。 新聞記事や統計データを資料として適時配布する。						
参考図書	新聞の社会・経済関係の記事を日常的に読むこと。 小宮一慶『小宮一慶の経済のことが面白いほどわかる本』(ダイヤモンド社) 坪井賢一『めっちゃくちゃわかるよ!経済学 改訂4版』(ダイヤモンド社) 木暮太一『最新版 今までで一番やさしい経済の教科書』(ダイヤモンド社)						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	この授業の概要、アベノミクスとは何か						
授業外学修内容						時間数	
2週目							
授業学修内容	現在の金融政策(量的金融緩和、質的金融緩和、インフレターゲット)						
授業外学修内容	テキストによる予習と復習。					時間数	1
3週目							
授業学修内容	現在の金融の状況(マネタリーベースとマネースtock、物価の見通し)						
授業外学修内容	テキストによる予習と復習。					時間数	1
4週目							
授業学修内容	日本のGDPの調べ方(名目GDPと実質GDP、季節調整)						
授業外学修内容	テキストによる予習と復習。確認問題による復習。					時間数	2
5週目							
授業学修内容	GDPの支出面の分析1(GDPの支出面、消費・雇用・賃金の動向)						
授業外学修内容	テキストによる予習と復習。読書レポートの本の検討					時間数	2
6週目							
授業学修内容	GDPの支出面の分析2(企業の投資の動向、貿易の動向、政府支出の動向)						

授業外学修内容	テキストによる予習と復習。経済や経営などに関する読書。	時間数	2
7週目			
授業学修内容	政府の収入と支出(租税と国債、社会保障の仕組み)		
授業外学修内容	テキストによる予習と復習。確認問題による復習。	時間数	2
8週目			
授業学修内容	為替レート(為替とは何か、円高・円安とは何か)		
授業外学修内容	テキストによる予習と復習。経済や経営などに関する読書。	時間数	2
9週目			
授業学修内容	為替レート変動の影響(輸出企業への影響、輸入企業や消費者への影響)		
授業外学修内容	テキストによる予習と復習。経済や経営などに関する読書。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	為替市場(為替の制度、為替レートの変化の要因、基軸通貨)		
授業外学修内容	テキストによる予習と復習。確認問題による復習。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	世界経済1(経済新興国、経済大国アメリカ、サブプライムローン問題の教訓)		
授業外学修内容	テキストによる予習と復習。経済や経営などに関する読書。	時間数	2
12週目			
授業学修内容	世界経済2(EUの経済、欧州債務危機の教訓、中東経済と石油、中国経済の発展、東南アジアと南アジア)		
授業外学修内容	テキストによる予習と復習。読書レポートの作成。	時間数	5
13週目			
授業学修内容	日本経済をめぐる問題1(エネルギー問題、環境問題、食糧問題・農業問題、自由貿易・TPP、少子高齢化と今後の社会福祉)		
授業外学修内容	テキストによる予習と復習。	時間数	1
14週目			
授業学修内容	日本経済をめぐる問題2(貯蓄率の低下、貿易赤字と財政赤字、雇用形態と格差社会、ファンドの役割、企業の社会的責任)		
授業外学修内容	テキストによる予習と復習。確認問題による復習。	時間数	2
15週目			
授業学修内容	まとめ		
授業外学修内容	練習問題による復習。	時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		28	
その他に必要な自習時間		62	

Number	ECO-1-002-jk	Subject	Introduction to Economics II		
Name	兼本 雅章 (Kanemoto Masaaki)	Year and semester	S Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>The fundamental understanding and consideration of the economy is essential to think about the challenges facing contemporary Japanese society (e.g. globalization, growing use of information technologies, declining birthrate and aging), and necessary to think about our own way of living and working in the future.</p> <p>This course introduces the basic thinking and important terms about the economy to students taking this course. It is the most basic course in understanding the economy.</p>				